

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号：19-189

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

- ・ 研究課題名：くも膜下出血後水頭症の発症予測因子に関する検討
- ・ 目的：くも膜下出血後にシャント術を要する水頭症を発症する症例は約11-37%と報告され、水頭症発症の危険因子も複数報告されているが、一定の見解は得られていない。当院で破裂脳動脈瘤に対して開頭手術を施行したくも膜下出血症例を用いて、シャント術を要する水頭症の発症を予測する因子を解析し明らかにする。
- ・ 研究期間： IRB承認日～2022年3月31日
- ・ 研究対象： 2012年1月1日～2018年12月31日

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

：臨床的特徴：年齢、性別、高血圧、糖尿病、脂質異常症、入院時水頭症合併、入院時頭蓋内出血症合併、入院時脳室内出血合併、WFNS grade、急性期 vasospasm 合併、入院中血液検査データ、治療手技、術後管理方法、mRS

形態学的特徴：Aspect ratio, bleb formation, fetal type, flow angle, Evans index

③ 利用する者の範囲

：所属 脳卒中外科 資格 医師 役職 講師 氏名 鈴木 海馬

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

：所属 脳卒中外科 資格 医師 役職 講師 氏名 鈴木 海馬